

番号	ページ	章番号	施策番号	施策名など	原案(修正前)	修正案	修正理由
1	29	1	1	魅力ある観光の振興	【めざす姿(成果目標)】 歴史や自然などの観光資源が効果的に整備され	【めざす姿(成果目標)】 歴史や自然、文化などの観光資源が効果的に整備され	食文化やサブカルチャーも含めて、地域資源としての本市の文化を発掘し、磨き上げることは、観光振興の観点からも重要である。 このため、「文化」を追記すべきである。
2	29	1	1	魅力ある観光の振興	【背景】 北部に広がる山地等の自然や温泉・ダム湖、南部の有明海等の豊かな自然、そして、市街地にある歴史や文化など多種多様な観光資源を有しています。	【背景】 北部に広がる山地等の自然や温泉・ダム湖、南部の有明海等の豊かな自然、そして、市街地にある歴史や文化市街地の歴史や文化、特徴ある景観など多種多様な観光資源を有しています。	外国人から見て、整然とした日本の農村の風景は十分に観光資源となりうる。また、麦秋やホタルなど、本市特有の美しい景観を活かした取組も始まっている。 このため、有力な観光資源として「特色ある景観」を追記すべきである。
3	32	1	2	活力ある商工業の振興	【取組方針】 経営基盤の強化に向けた支援や人材育成等により、既存商工業の経営安定を図るとともに、地域ブランドの強化を促進します。	【取組方針】 経営基盤の強化に向けた支援や人材育成、商工団体との連携等により、既存商工業の経営安定及び域内における経済循環の向上を図るとともに、地域ブランドの強化を促進します。	地域経済の活性化のためには、域内の経済循環を高めることも重要であり、商工団体との連携等を通じて、効果的に経済が循環していく取組を進めることが必要である。 このため、【取組方針】において、商工団体との連携等を通じて、域内における経済循環の向上を図っていく旨を追記すべきである。
4	34	1	3	賑わいあふれる中心市街地の活性化	「1-3-3魅力ある店舗・施設の整備」 住民ニーズに合致した店舗や公共施設、事務所等の立地促進を図ります。	「1-3-3魅力ある店舗・施設の整備」 住民ニーズ子育て世帯、高齢者、若者など、住民や来訪者等のそれぞれのニーズに合致した店舗や公共施設、事務所等の立地促進を図ります。	中心市街地の魅力向上のためには、幅広い世代の様々なニーズに的確に対応しうる、多面的な機能を有した街づくりを進める必要がある。 諮問案の表現ぶりは具体性に乏しく、多様なニーズに対応した街づくりを進める趣旨が伝わらないため、具体的な表現ぶりに改めるべきである。
5	34	1	3	賑わいあふれる中心市街地の活性化	「1-3-5まちづくり団体との連携の充実」 市民活動団体、大学等との連携を進めます。	「1-3-5まちづくり団体との連携の充実」 市民活動団体、大学、企業等との連携を進めます。	中心市街地の活性化に取り組む上で、企業は重要なプレイヤーである。このため、行政が連携を進める相手として「企業」を追記すべきである。
6	35	1	4	総合的な農業の振興	【成果指標と目標値】 農業生産額 ・基準値(2013) 181億円 ・目標値(2019) 187億円 ・目標値(2024) 192億円	【成果指標と目標値】 農業産出額 ・基準値(2013) 268.0億円 ・目標値(2019) 271.0億円 ・目標値(2024) 273.5億円	諮問案の「農業生産額」は、農家の所得をベースとしたものであり、過去の統計値を参考として「農業産出額」に一定の補正係数を乗じて擬制的に算出したものとなっている。 農産物の加工による高付加価値化なども含めて、農業から生み出された「価値」の総体を把握し評価する上では、「農業産出額」を成果指標としたほうが適切と考えられる。 また、目標値については、県の統計資料に基づく過去の実績値の推移を踏まえつつ、品種改良や6次産業化等を通じた高付加価値化により収量・単価を引き上げることを前提として、農業算出額を毎年度5,000万円ずつ増加させていく目標設定とした。 ※農業産出額・・・主要作物ごとの産出額(作付面積×単位面積当たり平均収量×平均単価)を合算したもの

番号	ページ	章番号	施策番号	施策名など	原案（修正前）	修正案	修正理由
7	36	1	4	総合的な農業の振興	「1-4-1農業経営力の強化」 生産性の向上や効率化に向けた新技術の導入により農業経営力の強化を図ります。	「1-4-1農業経営力の強化」 生産性の向上や効率化に向けた新技術の導入によりJA等と連携し、生産性の高い品種の作付拡大や、米の直播栽培などの新技術の導入を進め、生産性向上と効率化を図ることにより、農業経営力の強化を図ります。めざします。	諮問案の記述ぶりには具体性が感じられず、今後の取組の方向性が見えづらい。JAさが（佐賀県農業協同組合）の栽培戦略等も踏まえつつ、より具体的な記述を行うべきである。
8	41	1	6	特色ある水産業の振興	「1-6-1地域ブランドの強化と販路拡大の支援」 ノリや有明海産の水産物のブランド化や特産品づくりに取り組むとともに、消費地への効果的なPR活動などにより、販路拡大を図ります。	「1-6-1地域ブランドの強化と販路拡大の支援」 ノリや有明海産の水産物のブランド化や特産品づくりに取り組むとともに、付加価値を高めた特産品の開発を支援します。また、消費地への効果的なPR活動などにより、や地元事業者等との連携を進め、更なる販路拡大と消費促進を図ります。	ノリなど水産物の消費拡大を図るためには、首都圏などへの販路拡大の取組だけではなく、地元事業者（飲食店、宿泊施設、土産物販売店等）と連携した商品開発や地元消費の促進も重要な視点である。 このため、「付加価値を高めた特産品の開発」を支援すること、及び「地元事業者等との連携」を通じて「消費促進」を図ることを追記すべきである。